

基本理念 ふれあい・支え合い 温もりのある福祉のまちづくり

令和4年度重点目標

1. 経営基盤の安定化を図るため、行政との意思疎通を強化して新しい連携の仕方を検討協議します。
2. 福祉ネットワークの充実に取り組み、町民のニーズを的確に把握して、それに対応した福祉サービスの提供に努めます。
3. 経費節減と業務の効率化を一層強化し、更なるコストの削減を図ります。

<総括>

令和4年度においても新型コロナウイルス感染症の影響により、人々の外出機会の減少や地域での諸行事は中止となり、人と人との繋がりが一層希薄する中、適切な支援につなげていけるかが大きな課題であり、福祉関係者に期待される役割も一層大きなものとなっています。

本会の地域福祉の職員体制は2名であり、担当する業務が多く、職員の負担となっており、職員の過重な負担の問題が顕在化しました。職員体制・業務の効率化を図り「ふれあい・支え合い 温もりのある福祉」を目指して地域福祉の推進に努めて参ります。

経営基盤の安定化については、訪問介護事業の収支改善に取り組み、加算取得により事業活動資金収支差額はプラスとなりましたが、在宅の介護力の低下で要介護度の高い利用者は施設入所にシフトし、減少しているため新たな経営戦略が必要となりました。

1. 住民に寄り添い 断らない相談支援

1-1 総合相談支援

(1) 総合相談事業

① 窓口相談

令和4年度も新型コロナウイルス感染症の影響による収入の減少に伴う相談が多く、生活福祉資金貸付事業、食料支援事業につなげて対応しました。

② なやみごと解決センターふくし相談所の開設

新型コロナウイルス感染症対策として予約制として対応しましたが、相談件数は減少しました。相談所としての相談件数は、減少傾向にありますが、経済的な問題や子育てに関する問題等については、生活福祉資金貸付事業、たすけあい金庫事業、成年後見センター事業、地域子育て支援拠点事業等において相談対応をしています。

生活上の悩みを抱える方々を支援し、生活をより良いものとして、自立につなげられるようになやみごと解決センターふくし相談所は専門機関と協力し継続的に支援していきます。

法律相談1件(6) 後見事業16件(32)

(2) 福祉事務所未設置による相談事業

① 支援調整会議への出席

| 日 時 | 場 所 | 内 容 |
|---------------|-----------------|----------------|
| 令和4年5月19日(木) | 平泉町社会福祉協議会 会議室 | プラン策定にかかるケース報告 |
| 令和4年8月1日(月) | 平泉町社会福祉協議会 会議室 | プラン策定にかかるケース報告 |
| 令和4年9月8日(木) | 平泉町学習交流施設エピカ研修室 | プラン策定にかかるケース報告 |
| 令和4年12月12日(月) | 平泉町社会福祉協議会 会議室 | プラン策定にかかるケース報告 |
| 令和5年3月10日(金) | オンライン | プラン策定にかかるケース報告 |

② 生活困窮者自立支援制度の普及・啓発

講演会の開催

日時 令和5年3月1日 参加者 60名

場所 平泉町文化遺産センター

講演 「子育て支援と地域づくり」

講師 認定特定非営利活動法人インクルいわて 理事長 山屋理恵 様

(3) 生活福祉資金貸付事業

対象者:低所得者、障害者世帯、高齢者世帯及び新型コロナウイルスの影響を受け収入が減少した世帯
新型コロナウイルス感染症が長期化するなか、生活に困窮する世帯の増加にともない令和2年3月より特例貸付が開始され対応してきましたが、令和4年9月30日で特例貸付の終了により利用者は大幅に減少しました。

○緊急小口特例 2件(11) 400,000円(2,200,000円)

○総合支援資金特例 1件(12) 600,000円(4,600,000円)

(4) たすけあい金庫貸付事業

要綱において貸付の条件が緊急に支給を必要とする者に、つなぎ資金として貸し付けるものと規定されているものの貸付条件が明確でないため要綱の見直しが必要と判断されます。

現行貸付限度額 5万円

新規貸付 3件(0)

貸付件数 4件(2)

残 高 95,100円(63,500円)

(5) 食料支援事業

生活困窮者への食料支援事業として「フードバンクポスト」を設置し、NPO法人フードバンク岩手と提携しながらフードドライブ事業を行い、町民の皆様から食品等を提供していただき食料支援を必要とする方に提供しました。提供件数 21件(22件)

また、岩手県共同募金会の助成を活用して民生委員さんのご協力を得て生活に困っている世帯、ひとり親世帯 41世帯(31世帯)に食料支援を行いました。

・受付件数 128件(157件)

1-2 権利擁護

(1) 平泉成年後見センター事業

認知症高齢者や知的障がい者、精神障がい者など意志決定が困難な人の判断能力を補うため本会が成年後見人、保佐人として利用者本人が安心して日常生活を送れるよう支援を行いました。

受任件数 4件（後見人1件 保佐人3件）※在宅1名 施設2名 病院1名

(2) 日常生活自立支援事業

日常生活に不安を抱えている認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者などの方で判断能力が不十分な方が地域で自立した生活を送れることができるよう福祉サービスの利用援助や日常的な金銭管理等のサポートを行う事業ですが、令和4年度も利用登録者はいませんでした。

2 とともに支え合う地域づくり

2-1 安心して暮らせる地域づくり

(1) ママ' Sひろば事業

① 子育て親子の交流の場の提供

アピユイの遊戯室を平日9:00から16:30まで開放し、子育て家庭の親子（乳幼児）が気軽に交流し、自由に遊べる場を提供しました。

年間利用者数（延べ人数） 288名（403名）

② 子育て等に関する相談・援助の実施

子育てに関する悩みや不安の相談に子育て支援アドバイザーが対応しました。

開催日 毎週2日（火曜日、木曜日） 10:00～16:00

相談件数 52件（92件）

③ 親子イベントの開催

感染対策を講じて季節にあった体験型のイベントを行いました。

開催件数 11回（10回）

参加者 25組（25組）

(2) ふれあいサロン事業

誰もが気軽に集まり、お茶のみやお喋りなどの自由な活動を通じて孤立防止や仲間づくり、介護予防等を目的とした活動の運営支援を行いました。

① 各地区の開催状況

| | | | | | | | | | | |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 1区 | 2区 | 3区 | 4区 | 5区 | 6区 | 7区 | 8区 | 9区 | 10区 | 11区 |
| 2 | 0 | 3 | 2 | 3 | 0 | 2 | 0 | 1 | 0 | 1 |
| 12区 | 13区 | 14区 | 15区 | 16区 | 17区 | 18区 | 19区 | 20区 | 21区 | |
| 2 | 1 | 4 | 4 | 2 | 7 | 4 | 2 | 0 | 2 | |

② 運営支援回数 8回（余暇活動支援、社協事業紹介等）

(3) ほほえみカフェ平泉（町受託事業）

認知症の人やその家族、地域住民、介護や福祉などの専門家など誰でも気軽に集える場所です。ここでは、認知症について知りたい、学びたい、考えたい、認知症になっても安心して暮らしたいそんな地域を作る場所を目的として運営しました。

| | 内容 | 参加者 |
|-----|---------------------------------|-----------|
| 4月 | ミニ講話、指体操 | 11 |
| 5月 | タブレットを活用した脳トレ、指体操 | 19 |
| 6月 | ミニ講話、指体操、かるた大会 | 15 |
| 7月 | 講演「ココロとカラダの健康を考えるセルフケア」 | 15 |
| 8月 | 中止 | 0 |
| 9月 | 中止 | 0 |
| 10月 | 講演「認知症と共に生きる希望宣言について」 | 17 |
| 11月 | レクリエーション ①ココロからダンス ②フロアカーリング | 10 |
| 12月 | ミニ講話、指体操 | 11 |
| 1月 | 講話「気をつけたい悪質商法について」 | 6 |
| 2月 | ミニ講話「地域の包括支援センターについて」 | 9 |
| 3月 | 講話「尊厳ある暮らし 特殊詐欺について」 | 12 |
| | 合計 | 125 (120) |

2-2 ボランティア活動と福祉教育

(1) ボランティアセンター運営事業

ボランティア活動の拠点として、ボランティア情報の収集、発信

① ボランティア団体及び福祉活動団体への支援

平泉町ボランティア団体連絡協議会との連携、各種団体や社協ボランティアグループ活動推進のための支援を行ないました。

② ボランティア保険の加入の促進

各団体にボランティア保険の広報・周知を行いました。

(2) 災害時におけるボランティア活動

災害時のボランティア活動を効果的に被災地救援につなげるため関係機関・団体と連携し、平時のネットワークづくりに努めました。

① 災害ボランティア研修会の開催

日時 令和4年10月19日(水) 13:30～15:30 参加者10名（町関係部署職員4名）

場所 平泉町学習交流施設エピカ 2階研修室

講演 「行政と共に進める災害支援」

講師 一関市社会福祉協議会事務局長兼地域福祉課長 菅原敏氏

② 災害ボランティアセンター設置運営訓練

令和4年11月26日開催予定であったが新型コロナウイルス感染症の拡大により中止。

(3) 福祉教育事業

福祉教育等を通じ、「共に生きる力」を育み、更に地域福祉を担う人材育成に努めました。

①サマーボランティアスクールの開催

新型コロナウイルス感染症の影響により町内の福祉施設でのふれあい体験は中止。

②福祉出前講座

福祉学習の支援や福祉活動の普及のため、町内の学校へ出張し、車いす・アイマスク・白杖・高齢者疑似体験等の福祉出前講座を開催しました。

| 日 時 | 学 校 |
|--------------|-----------------|
| 令和4年9月26日(月) | 長島小学校 3年生 (13名) |
| 令和4年10月3日(月) | 平泉小学校 4年生 (22名) |
| 令和4年10月7日(金) | 平泉小学校 4年生 (21名) |

2-3 福祉団体支援事業

(1) 福祉団体の支援

各福祉団体の事務局として運営に関わり、自立的な活動や組織運営ができるよう支援しました。

①団体 (平泉町身体障害者協議会・平泉町手をつなぐ会)

②支援内容 事務局業務

3 暮らしの安心を支える福祉サービス

3-1 高齢者・障害者の支援

(1) 福祉有償運送事業

福祉有償運送の登録をした在宅の高齢者、障がい者等で公共の交通機関の利用が困難な方を対象に有償で移送サービスを行いました。

①福祉有償運送専門ボランティア数 13名 (13名)

②利用者登録数 35名 (35名)

③年間延べ利用者数 141名 (180名)

④目的地 一関市128回(147回)、町内8回(24回)、奥州市5回(9回)

(2) 訪問給食サービス事業【町受託事業】

65歳以上の単身世帯及び65歳以上のみの世帯等に対し、業者による安否確認を兼ねた昼食用のお弁当を自宅まで配達しました。

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 計 |
|----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------------------|
| 人数 | 10 | 10 | 11 | 12 | 12 | 9 | 10 | 11 | 11 | 11 | 11 | 11 | |
| 回数 | 137 | 153 | 196 | 201 | 207 | 198 | 176 | 204 | 188 | 188 | 188 | 211 | 2,247 (2,192) |

(3) 訪問介護事業

要支援・要介護認定を受けた高齢者や障がい者が、住み慣れた地域での生活を継続できるように、その居宅にホームヘルパーを派遣し、訪問介護を行いました。

| 事業対象者 要支援者・要介護者 | 訪問介護事業 | 利用者数（人） | 回数 |
|---|-----------|---------|---------------|
| | | 29 (34) | 4,319 (5,254) |
| ※利用者の内訳 要支援 1.2の方が13名（9名）要介護の方が16名（25名） | | | |
| 障がい者 | 障害者自立支援事業 | 6 (3) | 420 (212) |
| | 移動支援事業 | 3(1) | 142 (143) |

4 信頼され 開かれた組織作り

4-1 組織体制の強化

(1) 理事会・評議員会・監査会

理事会 4回

| 日時・出席者 | 議案 |
|---------------------------------|---|
| 第1回 6月9日(木) (理事7名・監事2名) | <ul style="list-style-type: none"> 令和3年度事業報告及び決算について 理事候補者の選任について 令和4年度定時評議員会の招集について |
| 第2回 (理事会決議の省略) 7月19日議決 | <ul style="list-style-type: none"> 訪問介護ソフトリース契約の締結について |
| 第3回 12月2日(金) (理事7名・監事1名) | <ul style="list-style-type: none"> 福祉協力員の委嘱について 処遇改善手当及び特定処遇改善手当支給要領の制定について 準職員就業規則の一部改正について 職員給与規程の一部改正について |
| 第4回 令和5年3月22日(水) (理事6名・監事2名) | <ul style="list-style-type: none"> 令和4年度収入支出補正予算について 令和5年度事業計画及び収入支出予算について 経理規程の一部改正について 事務局長の就業に関する規則の制定について 就業規則の一部改正について 非常勤ホームヘルパー就業規則の制定について 給与規程の一部改正について 評議員会の招集について |

評議員会 2回

| 日時・出席者 | 議題 |
|---------------------------------|--|
| 第1回 6月28日(火) 評議員9名（1名欠席）監事1名 | <ul style="list-style-type: none"> 令和3年度事業報告及び決算の承認について 理事の選任について |
| 第2回 令和5年3月29日(水) 評議員7名（3名欠席） | <ul style="list-style-type: none"> 令和4年度収入支出補正予算について 令和5年度事業計画及び収入支出予算について 経理規程の一部改正について 事務局長の就業に関する規則の制定について 就業規則の一部改正について 非常勤ホームヘルパー就業規則の制定について 給与規程の一部改正について |

監査会 4 回

| 日時・出席者 | 内 容 |
|---------------------------|--------------------|
| 第 1 回 6 月 2 日(水) 監事 2 名 | ・ 令和 3 年度決算監査 |
| 第 2 回 8 月 22 日(月) 監事 2 名 | ・ 令和 4 年度第一四半期出納監査 |
| 第 3 回 11 月 28 日(月) 監事 2 名 | ・ 令和 4 年度第二四半期出納監査 |
| 第 4 回 2 月 22 日(水) 監事 2 名 | ・ 令和 4 年度第三四半期出納監査 |

(2) 委員会等

令和 3 年度は、新規事業として「地域福祉懇談会」を開催しましたが令和 4 年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため地域懇談会は中止としました。

4-2 持続可能な法人運営

(1) 自主財源と公的財源確保

① 社協会員（会費）加入促進事業

| | |
|------|--|
| 対象者 | 町民、団体 |
| 事業実績 | 戸別 3,157,500 円 (3,231,000 円) 前年比 73,500 円減 |
| | 団体 650,000 円 (650,000 円) |

② 赤い羽根共同募金運動の展開

| | |
|--|--|
| 対象者 | 全町民、団体等 |
| 事業実績 | 令和 4 年度目標 2,850,000 円 実績 2,598,770 円 (2,820,522 円) 達成率 91.2% |
| | ・ 戸別 2,097,000 円 (2,142,000 円) 前年比 45,000 円減 |
| | ・ 学校 22,209 円 (22,763 円) 前年比 554 円減 |
| | ・ 法人 170,000 円 (234,000 円) 前年比 64,000 円減 |
| | ・ 街頭 0 円 (26,709 円) 前年比 26,709 円減 |
| | ・ 職域 73,906 円 (120,305 円) 前年比 46,399 円減 |
| | ・ イベント 27,465 円 (28,993 円) 前年比 1,528 円減 |
| | ・ その他 83,961 円 (45,752 円) 前年比 38,209 円増 |
| ・ 個人 124,229 円 (200,000 円) 前年比 75,771 円減 | |

③ 歳末たすけあい運動

| | |
|------|--|
| 対象者 | 生活困窮世帯、ひとり暮らし高齢者、高齢夫婦世帯、母子・父子世帯 高齢者・福祉施設等 (1 団体、4 施設) |
| 事業実績 | ・ 戸別 419,200 円 (428,400 円) 在宅配分 |
| | ・ 職域 54,612 円 (64,309 円) 1 世帯 2,000 円 168 世帯に支給 |
| | ・ 個人 124,229 円 (200,000 円) 施設配分 団体 20,000 円 施設 50,000 円 |

④ 町補助金・受託金の安定確保

社協が公益性の高い地域福祉推進の中核組織の役割を果たすため人材確保を重点要望事項として要望した結果、令和5年度より新たに福祉人材確保事業補助金が交付されることとなりました。

4-3 広報・啓蒙活動

(1) 広報誌・ホームページによる情報発信

- ① 広報誌を年3回（5月、9月、1月）全戸に配布2,800部（2,800）
- ② ホームページの運営

(2) 平泉町社会福祉大会

平泉町の地域福祉の向上に寄与された方々を表彰し、その功績を称えるとともに、住民や関係団体が協力して地域福祉における取組みの推進を目的として開催してきました。令和3年度は、2年ぶりに開催することができましたが令和4年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止としました。

(3) 岩手県福祉大会

令和4年10月28日開催の第75回岩手県社会福祉大会に福祉事業功労者4名、1団体、褒賞者3名（1名欠席）の方が参加されました。